

「明日につなげる 新・こうべ教育プラン」の概要

「一人一人の子供たちの輝く明日につなげる」とともに「神戸の豊かな明日につなげる」ため、「人は 人によって 人になる」の教育理念の下、神戸の教育を推進

計画策定の視点

- 1 少子高齢化、技術革新・グローバル化の進展など時代の流れを見据える
- 2 学習指導要領等の改訂など国の動きに対応
- 3 第2期神戸市教育振興基本計画における取組実績を継承・改善・発展
- 4 神戸市教育委員会の組織風土改革に向けた取組を推進

令和2年度

計画の内容

□：神戸市教育大綱の実現に向け、中心に取り組む項目

基本政策1

心豊かに たくましく生きる 神戸の子供を育む

1 確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進、個に応じた指導の充実

2 豊かな心の育成

- ・自他の命を大切にする教育の推進

3 健やかな体の育成

- ・児童生徒の体力向上

4 一人一人に応じたきめ細かな教育・支援の充実

- ・教育と福祉の連携による幼児・児童生徒への支援の充実

5 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上

- ・幼稚園教育要領に基づく教育の充実並びに公私幼保の教育の質の向上に寄与する研究・発信

6 特色ある高校教育・高専教育の推進

- ・全日制高校における魅力・特色づくりの推進、役割の多様化に応じた定時制教育の充実、時代の変化に対応した高専の教育内容の充実

7 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進

- ・国際都市神戸としての英語教育の推進、生きる力を育む神戸の防災教育の推進

基本政策2

安全・安心で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える

8 いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現

- ・いじめ対応に関する知識・技能の向上とチーム対応の推進、専門スタッフの体制強化と重大事態等への適切な対応の推進

9 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力の強化

- ・学校の組織力強化や学校への指導・支援の充実、高い倫理観と規範意識のある教員の育成、コンプライアンス意識が醸成された職場環境の構築

10 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進

- ・学校業務の適正化の推進、教職員の事務負担等の軽減

11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

- ・学級増対策の推進、学校施設の機能向上、学校施設の異常高温対策、感染症対策の推進

12 ICTの基盤整備と利活用の促進

- ・GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT学習環境整備の推進

13 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現

- ・地域に開かれ、地域とともにある学校づくりの推進、学校を支援する人材の育成・教員志望者の育成

14 地域に活かし・つなげる社会教育の充実

- ・生涯の「学び」機会の充実、地域に還元する「活かす」学習活動の支援

毎年、点検・評価を行い、進行を管理して取組を推進

令和5年度

指標例（4年後の姿）

「授業が分かる！」

児童生徒の割合
(小)全教科90%以上
(中)全教科80%以上

「ICTで学習！」

全小・中学生
特別支援学校小・中学部生
PC(タブレット)
配備率100%

「部活が楽しい！」
中学校部活動の活動内容
満足度80%以上

「校舎の機能アップ！」

トイレの洋式化
整備完了

「先生も生き生きと！」

超過勤務時間
各年度前年度比10%減

目指す人間像「心豊かに たくましく生きる人間」

- ①知・徳・体にわたる生きる力を身に付け、自ら学び、考え、行動する
- ②互いの人権を尊重し、多様な人々と共に生きる
- ③よりよい社会を築く一員となるための資質と自覚を高める
- ④夢や志をもち、自ら目標を定め挑戦する
- ⑤豊かな国際性を身に付け、地域や国際社会の持続的な発展に貢献する

3 横浜の教育の方向性

多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進します

多様性を尊重し、つながりを大切にしながら、次の四つの方向性に沿って施策や取組を進めます。

1 子どもの可能性を広げます

主体的な学び

主体的な学びを引き出し、様々な教育的ニーズに応じて、個性や能力を伸ばします。

創造に向かう学び

よりよい社会や新たな価値の創造に向け、学びを社会と関連付け、他者と協働する機会を創出します。

支え合う風土

相手と心から向き合うこと(想)^{※1}を大切に、多様な価値観を認め、支え合う風土を醸成します。

学びと育ちの連続性

幼児期から社会的自立までの成長過程における学びや育ちの連続性を大切にします。

2 魅力ある学校をつくります

安心して学べる学校

教職員が子どもの理解を深め、いじめなどの課題をチームで解決し、安心して学べる学校をつくります。

社会とつながる学校

地域や社会と目標を共有し、連携・協働することを通して、子どもと社会がつながる学校をつくります。

いきいきと働く教職員

子どもが豊かに学び育ち、教職員がいきいきと働くことができる学校をつくります。

学び続ける教職員

教職員は自ら学び続け、資質・能力の向上を図り、使命感や情熱を持って職責を果たします。

3 豊かな教育環境を整えます

安全・安心な環境

学校施設の計画的な建替えや保全等を進め、子どもの安全・安心を確保します。

地域とともに歩む学校

地域とともに子どもをよりよく育む教育環境を整えます。

市民の豊かな学び

生涯にわたって主体的に学び、心豊かな生活につながるよう、市民の学びの環境を整えます。

4 社会全体で子どもを育みます

家庭教育の支援

家庭は子どもの心身の調和のとれた発達、自立心の育成、生活習慣の確立を図り、行政は家庭教育を支援します。

多様な主体との連携・協働

学校、家庭、地域をはじめ、国内外の様々な関係機関や企業等が連携・協働し、子どもを育みます。

切れ目のない支援

教育と福祉、医療等の連携により、子どもを切れ目なく支援し、自立と社会参画に向けた学びや発達を保障します。

※1 いじめをなくすために、「横浜子ども会議（2013（平成25））」で子どもたちがまとめたアピール文より